

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャットスポーツ塾 高槻店		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別での運動指導により、利用者様保護者様のニーズに合わせた運動指導が出来ており高い割合で満足してもらえています。	その日によって調子が整わない児童などにも柔軟に指導方法を変え合わせている。	継続して柔軟な指導の提供とともに質の高い運動アプローチを目指していく。
2	短時間での個別指導を行っているため、メリハリを持つ事が出来、子供達も毎回気持ちよく運動が出来ている。	短時間かつ、飽きることなく集中できる取り組みを提案している。	こちらがリードするのではなく、自ら動ける自主性を大事にしていく。
3	就学に向け苦手な運動種目等を通じて児童の強み、弱みを幅広く読み取る事が出来、保護者様、就学後の先生に引継ぎする事が出来ている。運動不足を解消としてしっかり体を動かす事が出来ている。	指導マニュアルは作っておらず各スタッフがその日の児童の様子をアセスメントし運動のプログラムを提案できるスキルを日々磨いている。	チットチャットスポーツ塾以外でも自発的に遊んだり、運動し始めるような運動の提案を行なっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や学校、地域の連携ができていない。	支援会議などでは関りがあるが、運動個別指導を主として取り組んでおり、それ以外の関りを必要としていなかった為。	交流の機会を作り様々な児童の関りを作っていく。
2	室内のスペースが狭い	1人辺りのスペースは確保できているが、ダイナミックな動きになると手狭に感じる。	必要に応じて公園などを検討する。室内で安全に出来る事を優先して運動の提案を行っていく。
3	待機者に対して利用まで3年ほど待って頂いている	卒業者と共に新たに利用者様を契約しているが、待機者を解消できていない。	事業拡大に向け人材集め、貸し店舗を探している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス ネットチャットスポーツ塾・高槻店	公表日	令和 7 年 3 月 1 日
利用児童数	26人	回収数	76.90%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95%	0%	5%	0%	・活動内容がしっかりできるスペースが確保されていると思います。	・継続して適切なスペースを確保してサービスの提供を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95%	0%	5%	0%	・運動療育のプロ	・利用者様一人一人により良いサービスが出来る様、日々勉強してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	・見える収納で整頓されており、子供たちに分かりやすいと思います	・継続して「わかりやすさ」を大事にして行きます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	・裸足で走り回っても怪我をしないので、しっかりお掃除されているんだなと思っています	・清潔な空間は子どもの発達にも大切だと考えています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	・親も勉強になります ・子供の苦手なところやできないところを見てくださって支援できている	・より良い支援に繋がる勉強は日々行なっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		・プログラムに沿って継続してより良い支援に繋がっていきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	・子供の様子を見ながらどのように計画性を持って運動すべきかを作成されている	・お子様のニーズ、保護者様のニーズに寄り添い、就学に向け計画を立てておりますが、自発的に取り組んでいける事を一番大事にしています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		・5項目に沿って支援を行い生きる力を育てています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		・支援計画を元にスタッフで情報共有を行いより良い支援に繋がっていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90%	5%	5%	0%	・自分たちでその時やりたいことを決められている	・チャットチャットでは自主性主体性を大事にしております。これからも出来るだけ自分で考え試行錯誤する力を育てていきたいと考えております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	30%	35%	35%	0%	・活動を知らない可能性があります ・色タイイベントがあるので何か交流があるのかも知れませんが、参加したことがないので分かりません	・保育園等との交流は行っておりませんが、年に一度の福祉展に参加してより多くの方に運動療育を知ってもらおう活動を行っております。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%	5%	0%	0%		・丁寧な説明を心がけてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95%	5%	0%	0%		・丁寧な説明を心がけてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	90%	10%	0%	0%	・仕事でなかなか参加できませんが、また動画で拝聴して勉強したいと思います。 ・沢山してくれている	・お子様の支援に役立つ情報や勉強会はこれからも行っていきたいと思っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	80%	20%	0%	0%	・最近の様子に行く都度聞いてくださっています	・日々の最新の情報を元に支援のヒントとさせて頂いております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	75%	35%	0%	0%		・来塾時の会話を更に充実出来る様努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		・皆様に納得していただけるようサポートして行きます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	60%	35%	5%	0%	・兄弟イベントは私が知らないだけかもです ・参加したことはありませんがそのような事を発信されているので興味はあります	・座談会や保護者会を開催させていただいておりましたが、より多くの方にご参加頂けるよう告知を行なっていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85%	15%	0%	0%		・利用時の会話の中でご相談には対応させて頂いていますが、改めて相談の受け入れが出来る事を周知して行きます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%		・来塾時の会話を出来る限り行っており、皆様に満足いただける様努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90%	10%	0%	0%		・ネットでの発信は定期的に行っておりますが、さらに周知出来る様式して行きます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%		・個人情報につきましては徹底しておりますが、改めて厳重な扱いをして行きます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	70%	30%	0%	0%	・訓練は知らない	・避難訓練各種マニュアル等の様子をお伝えできておりませんでした。LINE等でお伝えさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	55%	40%	5%	0%	・月2回のため知らないだけかも知れない	・避難訓練等の様子をお伝えできておりませんでした。LINE等でお伝えさせていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%	10%	0%	0%		・ケガや事故が起こらないよう万全の態勢で日々指導出来る様努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	70%	30%	0%	0%	・未経験なので分かりません ・怪我をしたことがないのでわかりませんが、どんな時も丁寧に関わっていただいています。	・様々なケガを想定しシミュレーションをして速やかな対応して行きます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95%	5%	0%	0%	・どちらかと言うと緊張感の方が強いかなと思います	・安心して楽しんでいただけるよう、スタッフ一同努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	・とても楽しみにしています ・できないことができるようになったり ・自信を持てることに喜びを感じています ・とても楽しみにしており毎日行きたいくらいです。 ・しんどい時は全く喋りませんが、チャットチャットの先生の名前を連呼しています。	・継続してお子様楽しく体を動かし、自信をもって様々な事にチャレンジしている様サポートしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%	5%	0%	0%	・いつもありがとうございます。 ・とても楽しく通わせていただいています。 ・大変満足しています ・指導員同士の伝達が行き届いていないと感じます。同じ依頼を何度もしていますが毎回担当が違うので困っています。前回の担当コメントを確認されて指導いただいているのが不安になります。 ・いつも丁寧なご指導ありがとうございます。まっくん先生はじめみなさん手話を覚えてくださっておりとても嬉しいです。時々利用しているプールの先生方も優しく接してくださり安心して子どもを預ける事ができます。また先日の逆上がり時も、鉄棒がお腹に当たらないよう配慮してくださっていました。本当にありがたいです。これからもよろしくお願いたします。	・継続して楽しく通所頂けるよう努めてまいります。 ・ご指摘ありがとうございます。支援内容について共有をしておりますが、行き届いていない部分があり、申し訳ございません。情報の共有をしっかりと行い充実した支援に繋げていきます。 ・これからもより良い支援が出来る様努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャットスポーツ 高槻店		公表日		令和7年3月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様一人あたり2.47㎡の床面積を確保、更衣室兼カームダウンのスペースも設けている。	ボール運動や激しい運動をする場合は仕切りなどを行い事故の防止を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員を常時3人以上、指導スタッフとして配置している。	利用者様に安心してご利用いただけるようこれからも努めてまいります。「	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者様が安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている。事業所内はすべてフラット化されており、身体障がい児でも利用できる設備を完備している。なお、店舗前の路面からの僅かな段差にはスタッフが適宜対応している。	入口に8cmほどの段差がありますが、車いすの方が利用される場合はスタッフが乗り入れのサポートをさせていただきます。トイレは車いすの方にとってやや利用は難しいかもしれませんが、最大限利用しやすいようサポートさせていただきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回のレッスン後に使用した道具の消毒、毎日全レッスン終了後に消毒・清掃を行い清潔を保つようにしている。レッスンに使用する道具等は棚や決められた場所に収納し、常に動きやすいスペースを確保している。	感染予防対策としても清潔な空間を保ち、アルコール消毒等行なっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて面談室を利用頂いております。	個別でお部屋の利用が必要な方もおられますが、すべての方への対応は不十分である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一回の合同ミーティングなどで随時意見交換している。	伝達事項に漏れが無い様工夫してまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している	評価表を元に改善をしているが、不十分な部分はまだある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の業務終了後に意見交換を行い業務改善につなげている。	職員の意見を把握し、改善しているが不十分な部分はまだある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想を頂戴し、改善のヒントにしている。	外部からのご意見を頂く機会を増やす。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月一回合同ミーティング時に講師を依頼しコミュニケーショントレーニングを重ねている。また定期的に外部講師を招き研修を重ねている。	伝達が上手くできていない事もある。ので改善が必要だと考えます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	プログラムの公表は今現在出来ていない。	令和7年3月中旬に公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリング時には必ずアンケート調査を行い、同時に聞き取り調査も行って毎回の指導の指標にしている。	アセスメントがより良いものとなるよう変化を加えていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフと意見交換を行いながら計画を作成している。	より深く議論が出来る時間を確保していく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している。	見れていない時もあるので毎回確認するよう徹底していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		感覚-運動アセスメントシートJSI-3Dを改良した評価尺度を利用している。またチットチャット・スポーツ塾独自のタイプ分けシステムも採用しており指導の共有化、効率化を図っている。	アセスメントがより良いものとなるよう変化を加えていきます。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域項目に沿った支援計画を作成しううえでスタッフ間で共有した認識で支援を行っています。	支援の中で5領域との結び付けや解説が出来る様スタッフの育成を行う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全利用者様の指導アプローチをスタッフ全員で共有する会話を毎日行っている。	より深い支援プログラムにして行く。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導者がプログラムを決めず、利用者様の自主性主体性からプログラムを提供するサービススタイルなので固定化しないが、利用者様によってプログラムを固定化した方が良いお子様の場合は固定化している。	さらに専門的な指導が出来る様、全体のスキルアップが必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導・ペア指導・少人数集団指導の希望に沿って指導計画を立案している。	状況の変化に対応できるようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずその日の利用者様の指導担当を割り振り、リードとサブなどの役割分担を確認している。	情報交換が長引きすぎないように注意する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日必ず終業後に指導スタッフそれぞれが感想・気付き・問題点などについて申し送りをし共有化している。	業務や会議によって申し送りを見れていないことがあった。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録を記入し、スタッフ全員が閲覧できるようクラウド化している。	コメント記入が遅れることがあったので、速やかに記入するシステムを作る。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回アンケート調査ならびに聞き取り調査など保護者様との会話の時間をつくっている。また保護者様が指導現場に同席された際に、毎回意見交換をしている。	利用の期間が開いてしまう利用者様への聞き取りができていないことがあった。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り児童発達支援管理責任者が参加している。	会議の日程によって参加できないことがあった。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている。	保育、教育機関との関りは薄かった。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同席される保護者様から随時情報提供していただいている。支援会議などで学校を訪問することがあり、先生方と意見交換をしている。また所属されている施設からの見学も多数あり、支援の理解を共有している。	個別での取り組みが主ではあるが、様々な子供が交流できる機会が少なかった。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学時の移行の際の情報の共有は今現在出来ていない。	必要であれば密に連携する体制を整えていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		開催される研修には出来る限り参加している。	助言を受ける機会が無かったので、必要に応じて機会を設けていく。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		障がいのない子どもとの交流はあまり設けていないが、地域との関わり合いを含め機会があれば検討していく。障がいのある子の運動・スポーツに関する指導方法を啓発するための書籍の出版、指導者養成講座の開催、見学・研修の受け入れなどの交流活動を実施している。	交流の機会が持っていない。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎を担っていただき、かつ指導場面に同席されている保護者の方とは毎回の利用の際に意見交換を行っている。	業務の状況によって十分な会話ができない時があった。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		運動・スポーツに関する相談だけでなく、運動・スポーツを利用した成長に役立つ情報は頻繁にお伝えしている。	研修などの周知が十分にできていなかった。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている。	利用料金など説明をしていたが、伝わっていない部分もあった。より丁寧な説明が必要。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		来塾時には必ず保護者様と会話をさせていただき支援の方向性を確認させて頂いております。	保護者様の意見を優先し、お子様の想いとは違う計画になってしまう事もあった。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画書を一緒に見ながら確認していただき同意を得ています。	十分に説明できていないこともあった。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		経験豊富な障がい児スポーツ指導員、児童指導員を中心に随時相談や適切な助言を行っている。	相談に対して適切な返答が出来ない事があった。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的な子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者様へ紹介、参加を促している。座談会や男子会、女子会を開催している。	保護者様の交流の場が少なかった。兄弟の会を開催出来ていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、相談および申し入れに対しては即時対応するように徹底している。	相談に対して適切な返答が出来ない事があった。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月一回の通信誌の発行ならびにHP・LINE・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信をしている。	日によって配信できていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ず施錠できるロッカーに保管している。	シュレッターをする書類が溜まっている事があった。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		毎回の利用時に必ず保護者様との直接会話の時間をつくっている。	視覚支援や見本など不十分な時がある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を随時実施し誰もが参加受講できる催しを開催している。	より多くの方に参加頂ける工夫が必要。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している。	訓練などの様子をお伝えできていなかった。LINE等で報告する。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		半年に一回避難訓練を実施し、救命救急のための訓練を定期的に行っている。	訓練などの様子をお伝えできていなかった。LINE等で報告する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている。	確認が不十分な時もあった。再度確認を徹底する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ、食事の提供は行っていない。	食事の提供はしていないが、アレルギーなどの把握は必要な情報として確認をする。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画書を作成し、月々の安全管理チェックを行っている。	道具によって危険なものもあった。日々の道具確認を徹底する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全チェック後の周知は出来ていない。利用者様に安全に来塾頂けるよう、周知します。	改めて安全計画に元ずいた周知を行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日ヒヤリハットを記入し、事故が起きないように情報共有している。	ヒヤリハットの記入ができていない日があった。毎日のヒヤリハットを記入していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所全体での虐待研修を行っている。	研修の内容が偏りつつある。より深い研修にしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要なお子様には保護者様と確認の上計画書に記入している。	あらゆるパニックの想定しての備えをしておく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス チットチャットスポーツ塾 高槻店		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	154人	(回答者数) 111人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別での運動指導により、利用者様保護者様のニーズに合わせた運動指導が出来ており高い割合で満足してもらえています。	その日によって調子が整わない児童などにも柔軟に指導方法を変え合わせている。	継続して柔軟な指導の提供とともに質の高い運動アプローチを目指していく。
2	短時間での個別指導を行っているため、メリハリを持つ事が出来、子供達も毎回気持ちよく運動が出来ている。	短時間かつ、飽きることなく集中できる取り組みを提案している。	こちらがリードするのではなく、自ら動ける自主性を大事にしている。
3	保護者様も来所下さり、現場で頑張っている姿や現在の課題などを目の前で共有出来ている。	保護者様とお子様との関り方のポイント等、その場でお伝え出来る様にしている。	自宅等でも、自発的に運動できる様な提案を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校、地域の連携ができていない。	支援会議などでは関りがあるが、運動個別指導を主として取り組んでおり、それ以外の関りを必要としていなかった為。	交流の機会を作り様々な児童の関りを作っていく。
2	室内のスペースが狭い	1人辺りのスペースは確保できているが、ダイナミックな動きになると手狭に感じる。	必要に応じて公園などを検討する。室内で安全に出来る事を優先して運動の提案を行っていく。
3	待機者に対して利用まで3年ほど待って頂いている	卒業者と共に新たに利用者様を契約しているが、待機者を解消できていない。	事業拡大に向け人材集め、貸し店舗を探している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス チットチャットスポーツ 高槻店	公表日	令和7年3月1日
		利用児童数	154人
		回収数	72%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	85%	15%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・2人使用だと少し狭く感じる時がある。 ・動き回ったり、ボールを使ったりするにはかなりギリギリスペースかな〜と思うことはあります。 ・ボールを使った時に狭さを感じます。 ・大きく体を動かすには少しスペースが足りない様に思います。 ・工夫されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースではありますが最大限空間利用を工夫して、安全にご利用いただけるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	96%	4%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで、教えていただき感謝しています。 ・先生がコロコロ変わることがなく、何年もいてくださるのでとても良いと思います。 ・手厚くみてくださり、感謝しています。 ・17:30以降など、職員さんが少なく感じることもあり、声をかけづらい時があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者の皆様に安心してご利用いただけるよう努めてまいります。 ・利用定員に対して適切な人員の配置を行っておりますが、職員室で1日の終了業務や担当者会議等で席を外すことがあります。いつでもお声かけ頂けるよう工夫してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	99%	1%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいと思います ・配慮されている ・見える収納で整頓されており、子供たちに分かりやすいと思います ・配慮していただいていると思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除は欠かさず行なっています。運動スペースを確保したり、集中力を高める為にも整理整頓は大事だと考えております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	99%	1%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・とても活動しやすい ・裸足で走り回っても怪我をしないので、しっかりお掃除されているんだなと思っています 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全の空間をこれからも維持してまいります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97%	3%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・理解して頂いて、わかりやすく、対応して下さっています。 ・スタッフの方により専門性に差があるように思う ・いつも先生方には親身になってお話を聞いて頂いており大変感謝しております。親子共々毎回楽しみにしております。 ・とても親身に向き合ってくれています ・親も勉強になります ・分かりやすいように話しかけてもらっていつも有難いです。 ・子どもの成長に応じて支援していただいています ・すごく理解されて療育していただいています。いつもありがとうございます。 ・子どもの動きを観察して特性に合わせて活動内容を工夫してくれているのを感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様1人1人に納得していただけますようこれからも努めてまいります。 ・保護者様との会話の中から支援に大事な情報をたくさんいただいております。これからもお子様の運動スポーツのみならず、保護者様も安心してチットチャットをご利用出来る空間を大事にしていきたいです。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	98%	2%	0%			<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムに基づきより良い支援に繋がっていきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりされている ・はい、いつも一緒に考えていただきありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して5領域項目に沿った支援を充実しより良い支援に繋がっていきたく思います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%	6%	1%		<ul style="list-style-type: none"> ・運動に特化しているので家族支援までは難しい ・親も支援していただいていると感じています 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご兄弟の方の相談や家族の方の相談がある場合はいつでもお受けできますのでお申し付けください。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	97%	3%	0%			<ul style="list-style-type: none"> ・計画を共有しより良い支援に繋がってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96%	3%	1%		<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度の固定は望ましい。一年を通して縄跳びはげったい入れる、など ・子どもの意見も適宜取り入れてくださり、様々なプログラムを提供していただいています ・プログラムの種類が豊富で、新しい取り組みを子どもが楽しんでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様のその日の状況によって支援の内容は変わってくることもありますが、保護者様のニーズ、ご本人のニーズに沿って支援させて頂いております。基本的には生涯健康である身体作り、運動を通じて生きる力を育ててもらえる様支援しております。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	24%	44%	32%	<ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマンの関わりが特色だと思うので、いいえにしていますが問題ないと感じています。 ・そのような趣旨ではないと思うので… ・参加したことがないので、わからない ・特に必要としていない ・交流を目的にしていないので、今のままで満足しています。 ・色々イベントがあるので何か交流があるのかも知れませんが、参加したことがないので分かりません ・個別療育の効果に期待して通っているので、あえて地域の他の子どもとの集団活動の場がなくても、今のままでいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお子様との交流や、福祉展などの参加、男子会や女子会等利用者の枠を越えて交流を行っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96%	4%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・皆様に安心して利用いただけるよう丁寧に説明してまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95%	5%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・皆様に安心して利用いただけるよう丁寧に説明してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	90%	10%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に勉強になるので高槻店でもぜひ開催をお願いしたいです ・都合が合わずなかなか参加できませんが、色々企画していただいています 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等保護者様も参加頂けるようご案内しております。機会がありましたら是非ご参加ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	96%	4%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様と情報を共有しより良い支援に繋げていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	87%	13%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・機会があればお時間を作って伺いたいと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・来所の際は出来るかぎり、対面してお話させて頂いております。個別での相談が希望の場合はお申し付けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのデイと情報共有をしないといけないのは理解できるが、子供にとって、1箇所でも情報共有されていない(安心できる場所)があって良いと思いい、その都度の報告を控えております。現状で助かっています 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有の必要性がある場合は利用者様に確認して他事業等に連絡、連携をしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	69%	29%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・他の保護者と交流の場があまりない 	<ul style="list-style-type: none"> ・座談会、保護者様交流を兼ねた母の会の会を開催しましたが、より多くの方に参加頂けるよう周知をしていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	91%	9%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に相談があればお受けしておりますが、相談できる事を更に周知して行きます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	6%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、言うこと、言わない事を区別して貰えていると認識しています 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の前でお話をしない方が良い場合などは、面談室でお話させて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	96%	4%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に配信しておりますが、より多くの方にご覧いただける様周知してまいります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96%	5%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いには今以上注意をして扱ってまいります。 	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	63%	35%	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・特にそのようなマニュアルを見た覚えはないです ・わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは運動スペースに置かせて頂いておりますが、分かりやすい所に置きなおす事を検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38%	56%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことがないので、わからない ・わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練をした様子を公開出来ておりませんでしたので、公開して様子を知っていただくよういたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	8%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・安心してご利用いただけますよう、安全管理に努めてまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	74%	22%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ事故が起きたことがありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガが起こらないよう最善を尽くしております。また、日々のヒヤリハットを記入しスタッフ間で共有しております。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	98%	1%	1%		<ul style="list-style-type: none"> ・皆様に安心して利用いただけるよう全力で努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	92%	8%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしています ・はい、いつも楽しく参加させていただいています。 ・次いつ?と催促するようになりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して皆様に楽しんで来塾頂けるよう努めて参ります。

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	98%	2%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・40分間一人の先生にみっちりと言われてもらえる充実感があると思います。 ・先生の対応もムリをさせず共感的ですが、頑張っていて欲しい場面の対応も適正だと感じています。 ・先生もあまり入れ替わらないので、継続的に見ている安心感もあります。 ・毎回の利用を親子で楽しみにしています。 ・いつも本当にありがとうございます。 ・もう少し予約がとれたらとは思いますが… ・もうちょっと予約がとれたらとは思っていますが ・いつもよくしていただいてありがとうございます。 ・もう少し予約が取りやすく ・もう少し利用できるといいのですが、なかなか難しく利用頻度が少ないことが残念です ・体育が苦手で取り組みに後ろ向きですが、チャットチャットではとても楽しそうに取り組んでいます。 ・ご親切な対応にとても助かっています ・いつもありがとうございます！ ・親子で長い間お世話になっております。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちも一緒に運動させて頂きとても有意義な時間を過ごさせて頂いております。いつもありがとうございます。 ・個別指導としての強みをしっかり活かしてこれからも利用者様1人1人合ったサポートをしていきます。 ・利用者様全員が納得して来塾頂けるよう予約状況は調整させて頂いております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス チットチャットスポーツ塾 高槻店				公表日	令和7年 3 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様一人あたり2.47㎡の床面積を確保、更衣室兼カムダウンのスペースも設けている。	ボール運動や激しい運動をする場合は仕切りなどを行い事故の防止を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員を常時3人以上、指導スタッフとして配置している。	利用者様に安心してご利用いただけるようこれからも努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者様が安心して過ごせるよう遊具等を整備し、心地良く過ごせる環境を作っている。事業所内はすべてフラット化されており、身体障がい児でも利用できる設備を完備している。なお、店舗前の路面からの僅かな段差にはスタッフが適宜対応している。	入口に8cmほどの段差がありますが、車いすの方が利用される場合はスタッフが乗り入れのサポートをさせていただけます。トイレは車いすの方にとってやや利用は難しいかもしれませんが、最大限利用しやすいようサポートさせていただきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回のレッスン後に使用した道具の消毒、毎日全レッスン終了後に消毒・清掃を行い清潔を保つようしている。レッスンに使用する道具等は棚や決められた場所に収納し、常に動きやすいスペースを確保している。	感染予防対策としても清潔な空間を保ち、アルコール消毒等行なっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて面談室を利用頂いております。	個別でお部屋の利用が必要な方もおられますが、すべての方への対応は不十分である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフが同じシステム、同じ意図をもって支援にあたるように日々の店舗ミーティングおよび月一回の合同ミーティングなどで随時意見交換している。	伝達事項に漏れが無い様工夫してまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを実施し、各項目に対する評価やご意見から業務改善に対応している。	評価表を元に改善をしているが、不十分な部分はまだまだある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の業務終了後に意見交換を行い業務改善につなげている。	職員の意見を把握し、改善しているが不十分な部分はまだまだある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		各支店からの研修なども実施しており第三者の視点で意見や感想を頂戴し、改善のヒントにしている。	外部からのご意見を頂く機会を増やす。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月一回合同ミーティング時に講師を依頼しコミュニケーショントレーニングを重ねている。また定期的に外部講師を招き研修を重ねている。	伝達が上手くできていない事もある。ので改善が必要だと考えます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		プログラムの公表は今現在出来ていない。	令和7年3月中に公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング時には必ずアンケート調査を行い、同時に聞き取り調査も行って毎回の指導の指標にしている。	アセスメントがより良いものとなるよう変化を加えています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフと意見交換を行いながら計画を作成している。	より深く議論が出来る時間を確保していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		指導前には必ず支援計画や指導記録等資料を確認し、目標に沿ったプログラムを提供している。	確認が出来ていない時もあるので毎回確認するよう徹底していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		感覚-運動アセスメントシートJSI-3Dを改良した評価尺度を利用している。またチットチャット・スポーツ塾独自のタイプ分けシステムも採用しており指導の共有化、効率化を図っている。	アセスメントがより良いものとなるよう変化を加えています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域項目に沿った支援計画を作成し、様々なプログラムを通じて運動指導をしております。	支援の中で5領域との結び付けや解説が出来る様スタッフの育成を行う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全利用者様の指導アプローチをスタッフ全員で共有する会話を毎日行っている。	より深い支援プログラムにして行く。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導者がプログラムを決めず、利用者様の自主性主体性からプログラムを提供するサービススタイルなので固定化しないが、利用者様によってプログラムを固定化した方が良いお子様の場合は固定化している。	さらに専門的な指導が出来る様、全体のスキルアップが必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者へのアンケート調査や聞き取りをもとに個別指導・ペア指導・少人数集団指導の希望に沿って指導計画を立案している。	状況の変化に対応できるようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずその日の利用者様の指導担当を割り振り、リードとサブなどの役割分担を確認している。	情報交換が長引きすぎないように注意する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日必ず終業後に指導スタッフそれぞれが感想・気付き・問題点などについて申し送りをし共有化している。	業務や会議によって申し送りを見れていないことがあった。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録を記入し、スタッフ全員が閲覧できるようクラウド化している。	コメント記入が遅れることがあったので、速やかに記入するシステムを作る。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回アンケート調査ならびに聞き取り調査など保護者様との会話の時間をつくっている。また保護者様が指導現場に同席された際に、毎回意見交換をしている。	利用の期間が開いてしまう利用者様への聞き取りができていないことがあった。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿って基本活動を組み合わせ生きるための身体作りを行っている。	自宅での取り組みが出来る方、壮でない方があった。自発的に取り組める提案を行う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で選んで、取り組める事を大事にしている。	場合によって指導員が提案する事も多々あった。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的に管理者が参加している。	管理者以外のスタッフが参加する事もある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		就学時等の移行の際の情報の共有は今現在出来ていない。	必要であれば密に連携する体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎を行っておらず学校との情報共有は出来ていない。	必要な場合には連携していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		連携は取れていない。	必要な場合には連携していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現状提供する機会が無かった。	必要な場合には連携していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現状でそのような機会が無かった。	必要な場合には連携していきます。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		障がいのない子どもとの交流はあまり設けていないが、地域との関わり合いを含め機会があれば検討していく。障がいのある子の運動・スポーツに関する指導方法を啓発するための書籍の出版、指導者養成講座の開催、見学・研修の受け入れなどの交流活動を実施している。	必要な場合には連携していきます。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○	現状では参加できていません	積極的に参加して行きます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		○	送迎を担っていただき、かつ指導場面に同席されている保護者の方とは毎回の利用の際に意見交換を行っている。	業務の状況によって十分な会話ができない時があった。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	運動・スポーツに関する相談だけでなく、運動・スポーツを利用した成長に役立つ情報は頻繁にお伝えしている。	研修などの周知が十分にできていなかった。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	毎回の契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている。	利用料金など説明をしていたが、伝わっていない部分もあった。より丁寧な説明が必要。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	来塾時には必ず保護者様と会話をさせていただき支援の方向性を確認させて頂いております。	保護者様の意見を優先し、お子様の想いとは違う計画になってしまう事もあった。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○	支援計画書と一緒に見ながら確認させていただき同意を得ております。	十分に説明できていないこともあった。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	経験豊富な障がい児スポーツ指導員、児童指導員を中心に随時相談や適切な助言を行っている。	相談に対して適切な返答が出来ない事があった。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	定期的に子育てに役立つ講演会などを外部講師に依頼し保護者様へ紹介、参加を促している。座談会や男子会、女子会を開催している。	保護者様の交流の場が少なかった。兄弟の会を開催出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	児童発達支援管理責任者を中心に、相談および申し入れに対しては即時対応するように徹底している。	相談に対して適切な返答が出来ない事があった。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	毎月一回の通信誌の発行ならびにHP・LINE・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信をしている。	日によって配信できていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	必ず施錠できるロッカーに保管している。	シュレッターをする書類が溜まっている事があった。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	毎回の利用時に必ず保護者様との直接会話の時間をつくっている。	視覚支援や見本など不十分な時がある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	子育てや障害児のスポーツ指導法に関する講習会、研修会を随時実施し誰もが参加受講できる催しを開催している。	より多くの方に参加頂ける工夫が必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	ファイリングし、いつでも閲覧できるよう訓練指導室に配置している。	訓練などの様子をお伝えできていなかった。LINE等で報告する。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	半年に一回避難訓練を実施し、救命救急のための訓練を定期的に行っている。	訓練などの様子をお伝えできていなかった。LINE等で報告する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	契約時や6ヶ月に一回のモニタリング時、毎利用時の保護者との会話の際に身体状況や服薬等の確認を行っている。	確認が不十分な時もあった。再度確認を徹底する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	おやつ、食事の提供は行っていない。	食事の提供はしていないが、アレルギーなどの把握は必要な情報として確認をする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画書を作成し、月々の安全管理チェックを行っている。	道具によって危険なものもあった。日々の道具確認を徹底する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安全チェック後の周知は出来ていない。利用者様に安全に来塾頂けるよう、周知します。	改めて安全計画に元ずいた周知を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	毎日ヒヤリハットを記入し、事故が起きないよう情報共有している。	ヒヤリハットの記入ができていない日があった。毎日のヒヤリハットを記入していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	事業所全体での虐待研修を行っている。	研修の内容が偏りつつある。より深い研修にしていく。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要なお子様には保護者様と確認の上計画書に記入している。	あらゆるパニックの想定しての備えをしておく。
----	----------------------------------------------------------------------------------	---	--	-----------------------------------	------------------------